

2006年2月7日

記者各位

出光興産株式会社

静岡県御前崎市に「有機 EL 材料生産工場」を建設

～ 15 億円を投資し、2007 年 1 月に年間 3 トンの生産体制へ ～

当社（本社：東京都千代田区、社長：天坊昭彦）は、このほど、静岡県御前崎市に、世界最新鋭となる有機 EL 材料生産工場の建設を決定しました

新工場は、投資額 15 億円、生産能力は世界最大級となる年間 3 トンで、原材料から最終製品まで一貫して生産できる本格的な有機 EL 材料工場です。2006 年 2 月より着工し、2007 年 1 月に操業を開始する予定です。

当社は、世界最高レベルの寿命性能と輝度効率の青色・緑色発光材料を開発するなど、国内外有数の有機 EL 材料メーカーですが、その生産は国内化学会社等に外部委託しております。

近年、携帯電話サブ画面や携帯デジタルオーディオのディスプレイなど有機 EL ディスプレイの市場拡大が本格化する中で、その材料需要も伸張しつつあります。将来的には、中大型の薄型ディスプレイへの展開により、需要は大きく伸びるものと期待されます。当社はこれらの増大する需要に対し、納入先への安定した供給を果たすためにも、自社工場の建設が急務と判断いたしました。

建設地は、いくつかの候補地の中から、精密化学工業が盛んな地域であり、近隣に生産委託先がある静岡県御前崎市に決定しました。

新工場の建設決定について石原茂雄御前崎市長から、「出光興産の世界最大級の最先端技術有機 EL 工場が、我が御前崎市に誕生するにあたり、心より歓迎いたします。また、新時代にふさわしい企業の進出であり、街の発展に大きく寄与することを期待いたします。」とのコメントをいただきました。

当社は、有機 EL 材料のさらなる高寿命化、高効率化を進めるとともに、新工場と従来の生産委託先をあわせて供給面での充実化を図り、次世代有機 EL ディスプレイの普及に貢献していきます。

< 新工場の概要 >

・新工場名称	出光興産株式会社 御前崎製造所（仮称）
・建設地	静岡県御前崎市合戸
・建設開始	2006年2月
・生産開始予定	2007年1月
・製造内容	有機 EL 材料の合成、精製
・生産能力	3トン/年
・総工費	15億円
・延床面積	1,800㎡
・生産人員	20名

以上

< 参 考 >

・有機 EL ディスプレイとは、

有機材料に電流を加えることで材料自らが発光する自発光型のディスプレイデバイスです。バックライトが不要な上に、有機発光層をガラス基板で挟んだシンプルな構造なため、パネル厚を大幅に薄型化することができます。また、優れた動画応答性や鮮やかな色彩表現が可能のため、次世代の薄型ディスプレイとして注目されています。

・有機 EL への取り組みについて

当社は、自社で保有する分子設計・有機合成技術を応用し、1997年に当時世界最高輝度の青色発光材料を開発して以来、最先端の発光材料を継続的に開発しております。現在は中大型ディスプレイにも適用可能な材料開発を進めています。また、材料開発のみにとどまらず、有機 EL 材料の性能を最大限に発揮するための材料組み合わせ技術や有機 EL デバイス化技術の開発にも積極的に取り組んでいます。

～ お問い合わせ先 ～

出光興産株式会社 広報室（加来） TEL：03 - 3213 - 3115

電子材料部 商品管理センター（森田） TEL：03 - 3213 - 3196

URL <http://www.idemitsu.co.jp>